



薬小っ子スタンダード
当たり前のことを
当たり前に行ける子に

薬師寺小だより

平成30年4月
下野市立
薬師寺小学校長
鈴木一恵



あいさつ・返事
言葉遣い

やさしく



毎日の読書
家庭学習

かしこく



早寝・早起き
朝ごはん

たくましく



進級 おめでとう! 4月9日新任式・始業式

花壇のチューリップやパンジーが希望に満ちた子どもたちの登校を出迎える中、4月9日（月）始業式が行われ薬師寺小の平成30年度がスタートしました。

始業式に先立ち、4月1日に赴任した教職員を迎える「新任式」を行いました。赴任した教職員は次の11名です。全職員、薬小の子どもたちのために誠心をもって精一杯努力いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

人見佳代子 教頭	国分寺東小学校より
金久保貴子 教諭	緑小より
堀美弥 教諭	南河内第二中より
佐藤史昌 教諭	細谷小より
嶋脇沼 教諭	新規採用
松野弥香 主事	南赤塚小より
星野良枝 講師	野木町立若木小より
福田桜子 養護助教諭	小山市立若木小より
福田雅美 公仕	吉田西小より
竹内由理子 支援員	古山小より
石田由起子 支援員	新規採用

今年度の職員構成です どうぞよろしくをお願いします

校長	鈴木 一恵	6年1組主任	芋川 晴恵
教頭	人見佳代子	6年2組	篠原 魁
教務主任	金久保貴子	なかよし主任	塩田 晴治
学力向上推進リーダー	土田 礼巳	なかよし	星野 良枝
学力向上実践・T	吉川 葵	通級学級	堀 美弥
1年1組主任	稲葉 恵子	養護教諭	福田 桜子
1年2組	瀬端 愛美	主事	松沼 弥香
2年1組	上條 愛理	公仕	福田 雅美
2年2組主任	中田 潤子	学校支援	橋本真知子
3年1組主任	今城 生子	支援員	石田由起子
3年2組	嶋脇 俊介	支援員	竹内由理子
4年1組	安生 知世	支援員	東浦 郁子
4年2組主任	小野瀬亜矢子	新採指導	宮本 元与
5年1組主任	佐藤 史昌	新採研後補充	太田 愛子
ALT	グンタン	JTE	石原 由貴



本校校長として3年目となりました。薬小を愛する地域の皆様に御支援を頂きながら今年度も純粋で可愛い子どもたちと過ごせることに心から感謝致しております。

創立145周年を迎える薬師寺小の歴史を子どもたちが力強く刻んでいけるよう、一日一日を大切に、明るく笑顔溢れる学校を目指して参ります。

今年度は以下のような方針で、全職員一丸となって取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【学校教育目標】
ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む ○進んで学ぼう ○心をみがこう ○体をきたえよう
【目指す児童像】
○自ら考え学び合える子 ○心やさしく助け合う子 ○体をきたえやり抜く子
【目指す学校像】
○子ども達が、薬師寺小で学べてよかったと思える学校 ○保護者が、薬師寺小に子どもをあずけてよかったと思える学校 ○教職員が、薬師寺小に勤務できてよかったと思える学校 ○地域の方が、薬師寺小が地域にあってよかったと思える学校

【具体的な取り組み】

異学年交流活動や業間活動を充実させ、望ましい人間関係を築くとともに、互いの存在を認め合える優しい子を育てます。

考える楽しさや分かる喜びが実感できる授業づくりを進めるとともに、家庭学習や読書活動を充実させ学力向上を目指します。

体育的行事や勤労生産的行事を充実させ、目標に向かって最後まで粘り強く取り組む心と体の育成を目指します。

学校行事や集会活動を充実させ、豊かな心を育むとともに、自信をもって発表したり表現したりできる子を育てます。

幼小連携と小中一貫教育を推進し、義務教育9年間の成長を見通した知徳体のバランスのとれた児童の育成を目指します。

道徳教育の推進と外国語活動の導入を積極的に行い、将来、様々な人々と尊重し合って生活できる子を育てます。

ふるさと薬師寺の心を生かし、地域とのつながりを大切にしながら、薬師寺小ならではの特色ある教育活動を展開します。

安心で安全な学校作りを目指して、常に危機意識をもち、家庭や地域との連携を図りながら、安全管理に努めます。



水（自分のがんばり）と肥料（学校）と太陽の光（家庭）で3つの種を育てましょう

4月10日（火）お兄さんお姉さんが育てたパンジーが花壇にも体育館にも咲き誇る中、入学式が行われました。担任からの呼名に56名の新入生は、「はい」と元気よく返事し、薬師寺小の子ども達の仲間入りをしました。

校長式辞では「お兄さんお姉さんのような立派な薬小っ子になろう。」と呼び掛け、その方法をお話しました。それは「心の種、頭の種、体の種を一生懸命に育てること」です。この3つの種を育てることは、「当たり前」の事を当たり前でできる子になる」ということです。それを本校では「薬小っ子スタンダード」と呼び、御家庭の御協力を頂きながら日々一生懸命に取り組んでいます。全校生にいつもお話していることがあります。それは、「この種に水をやるのは、あなたたち自身です。『がんばる（努力）』ということが水をやることになります。毎日少しずつがんばりましょう。」と。

学校では、お子様の種に適切な肥料をあげます。御家庭では、ぜひ、温かな太陽の光を与えてください。共に手を携えてお子様の健やかな御成長を楽しみながら見守って参りましょう。



薬小っ子スタンダード

当たり前なことを当たり前でできる子に

- やさしく**
- ・あいさつ、返事、言葉遣い
 - ・くつ揃え
 - ・家族のためのお手伝い
 - ・自分のことは自分でする



- かしこく**
- ・毎日の読書、家庭学習
 - ・テレビやゲームの時間を決める
 - ・家族との会話、親子読書
 - ・地域の行事への参加



- たくましく**
- ・早寝、早起き、朝ごはん
 - ・外遊び、体力作り
 - ・家族と一緒に正しい食習慣
 - ・安全な登下校



薬小の学び舎で育まれる自主・連帯の心 ～始業式代表児童（6年生）の言葉から～

「最高学年としてがんばりたいこと」

5年生を振り返ると代表委員や情報委員など学校を支える大切な役割を果たしてきました。どちらもやり遂げた達成感があり「やってよかった。」と思えました。今年は最高学年として頑張りたいことが2つあります。

1つはいろいろな事にチャレンジすることです。それは代表委員です。今までに2回代表委員をやらせてもらいました。行事が成功するたびにみんなが「楽しかった。」と喜んでくれるとても嬉しくなりました。これからもみんなを笑顔にしたいです。

2つ目は整理整頓です。5年生の時までは、身の回りがすぐに散らかってしまいました。しかし、家庭科の授業で整理整頓された道具箱の写真を撮り、それを見ながら整理整頓する方法を学びました。これからはこの方法を活用し、学校でも家でも常に身の回りをきれいに保てるようにしたいです。

ぼくは最高学年として代表委員のような立場でみんなをまとめたり、整理整頓を頑張ったりしたいです。そして、自分のことは自分で言い、友達と協力して、去年の6年生に負けないうらい立派な6年生になりたいと思っています。

下野市小中一貫教育推進について

これからの社会は変化が著しく将来を予測することが困難な時代と言われていています。今の子どもたちが成人する頃には、社会構造や雇用環境が大きく変化し、職業の在り方について様変わりをするとも言われています。

そのため、義務教育9年間を通じて一人一人が自信と誇りを持ち、安心して学べる環境の中で個性を発揮していけるよう学校教育を見直すことが必要となっています。

下野市では次のような方針により、各中学校区単位での「小中一貫教育」を推進しています。南河内中学区は施設一体型の小中一貫教育に向けて研究を進めています。

下野市小中一貫教育の方針

- ◇ 9年間の学びをつなぎ、確かな学力、健やかな体の育成、豊かな心の育成を保証します。
- ◇ 9年間の一貫した児童生徒指導により、子どもたちが安心して学べる場を提供します。
- ◇ 郷土への理解を深め、ふるさとを愛する心を育てる教育活動を推進します。
- ◇ 「学校運営協議会」の導入により、地域とともにある学校づくりを推進します。

薬師寺小学校運営協議会がスタート

子どもを取り巻く環境の変化により、学校が抱える課題も複雑化しています。こうした時代の変化に応じて、保護者や地域の皆様からの要望や期待も多様化し、「地域とともにある学校づくり」が求められるようになってきました。

そこで、下野市ではこれまで学校・家庭・地域の連携を図ってきた学校評議員制度を基盤に、各学校の特色ある教育活動をより一層推進するため、今年度からそれぞれの学校で「学校運営協議会」をスタートさせる事になりました。

これからは「どのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを地域（保護者・地域住民等）と学校が共有し、一体となって子どもを育む「地域とともにある学校」を目指していきます。

市教育委員会からは地域学校協働活動推進員（南河内中学区担当）が委嘱され、地域人材育成やふるさと学習、ボランティア活動等をコーディネートし、社会教育の場面からも地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働できるよう協力体制づくりへの支援をしていただきます。

本校では次の方々に運営協議委員をお願いし、本会を発足させます。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成30年度薬師寺小学校運営協議委員

- | | |
|------------------|-------------|
| 谷萩 昌道様（地域） | 高山 信夫様（保護者） |
| 逢田 優 様（地域） | 高橋 葉子様（保護者） |
| 舘野 法子様（地域） | 宮崎 真人様（保護者） |
| 鈴木 一恵（学校：校長） | |
| 芋川 晴恵（学校：地域連携教員） | |
- <事務局>人見住代子（教頭）金久保貴子（教務主任）

定期異動により転退職された13名の先生方

- | | |
|-----------|------------------|
| 宮本 元与教諭 | 退職（新採指導として薬小勤務） |
| 石田 由起子教諭 | 退職（市支援員として薬小勤務） |
| 野口 美智代公仕 | 退職 |
| 藤附 和彦教頭 | 退職 小へ（教頭として） |
| 川島 啓教諭 | 国分寺小へ（主幹教諭として） |
| 熊谷 妃教諭 | 南河内第二中へ |
| 北城 篤史教諭 | 真岡市立真岡小へ |
| 柴崎 友里養護教諭 | 古山小へ |
| 竹内 清恵講師 | 国分寺小へ |
| 高松 祐太主任 | 野木町立佐川野小へ（主事として） |
| 突生 川弘美支援員 | 石橋北小へ（市支援員として） |
| 野口 織恵支援員 | 吉田東小へ（市支援員として） |
| 橋本 真知子支援員 | 継続して薬小勤務（県学校支援） |